

SSP

Side Stand Project

「ダメ」を探すのではなく、
「できる」を探す。

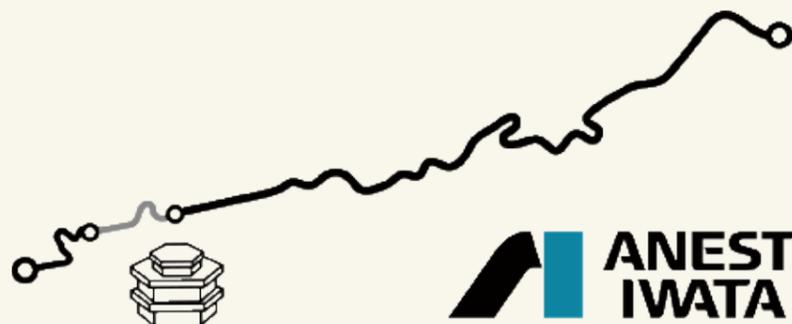
Jump over!





アネスト岩田 ターンパイク箱根

アネスト岩田は
障がいを抱えていても
オートバイで走る夢の実現を
応援します。



ひとつしかないこの地球。

いま世界中で「持続可能な社会」を実現していくための活動がうまれています。

ブリヂストンはこの2022年に“Bridgestone E8 Commitment”を定め、2050年に向けて、私たちがらしい8つの「E」、私たちがらしい8つの価値を、私たちがらしいやり方で創出していくことで、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。

Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。

Efficiency モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。

Extension 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。

Economy モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。

Emotion 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。

Ease より安心して心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。

Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

ブリヂストンは、これまで以上に世界の課題と可能性に向き合っていきます。

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。みなさまと一緒に。

株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936

受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く）9:00～17:00

www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

やるぜっ!! 箱根 Side Stand Project ターンバイク

パラモトライダーの未来のために—— 箱根ターンバイクが熱かった夏の日

2022年9月11日、歴史が、少しだけ動いた。障がいを持ったパラモトライダーたちが、公道をバイクで走る。そんな夢物語が、現実のものとなったのだ、会場となったアネスト岩田ターンバイクには、終始、笑顔と感激がこぼれていた。しかしそれにも増して、独特の緊張感が漂っていた。「失敗したら、後がない」。全員でのチャレンジだった。

写真=真弓悟史 文=高橋剛



バイクで公道を旅する 8年前倒して叶った夢

人生には時々、完璧な1日が訪れる。喜びと楽しさと満足だけしかない、上々な日が。9月11日は、まさにそんな素晴らしい1日だった。

アネスト岩田ターンバイク箱根は、神奈川県小田原市早川と湯河原峠とを結ぶ山岳道路だ。全長、約15km。ゆるやかなカーブが続き、標高差1000mを一気に駆け上る快走路である。随所に眺望のよい休憩所が設けられており、高原の涼風に吹かれながら遙かなる山々や海を眺めれば、それだけで心が晴れる。

乗り物を愛するライダーやドライバーたちにとって憧れの聖地だ。休日は多くのバイクや車が訪れる。9月11日は日曜日。いつも通りの賑わいにも見えた。

だが、よく見ると様子が違った。ターンバイクは完全に貸し切られ、入料料金所付近には車椅子や義足など、障がいを持ったパラモトライダーたちの姿が多く見られたのだ。

SSPはこれまでも、パラモトライダーの「再びバイクで走りたい」という願いを積極的に支援してきた。主な舞台は、サーキットや教習所など、公道とは完全に隔てられたクローズドコースだ。

それはそれで、充実感も達成感もある。舞台がどこであれ、障がいのある人たちが、勇気を持ってバイクという不安定な

乗り物を使いこなす姿は、本人はもちろん、周囲にも爽やかな感動を授ける。

しかし、バイク乗りにとってのメインイベントは、旅すること。公道をツーリングすることなのだ。風を受けながら、変わりゆく風景や、高度が上がるたびに下がっていく気温や、季節の香りを全身で楽しむことこそ、バイクに乗ることの醍醐味である。

美しい景色の中を駆け抜けるあの喜びを、味わってもらいたい――。

SSP代表の青木治親にとって、それはとても大きく大きな目標だった。SSP設立当時から、「いつかはパラモトライダーに箱根ターンバイクを走ってもらいたい」と公言してはいたものの、それがいかに困難なことかも分かっていた。

絶対に叶えたいと強く願いながらも、「2030年までに実現できれば」と、冷静に現実を見据えてもいた。そして、常にターンバイクを走るパラモトライダーたちの姿をイメージしながら、日々のSSPの活動に全力で臨んだ。

そして、努力は報われる。すべての歯車が一気に噛み合い、予定よりも8年も早く「やるぜ!!! 箱根ターンバイク2022」を開催できることになった。

SSPスタッフの頑張りや、それを支えてくれた多くの人々の協力も、もちろん大きな要因だ。だが、それ以上にパワフルな原動力があった。それは、パラモトライダーたちの、熱い思いだ。

失敗するわけにはいかない 人のために、未来のために

真つ白な目差しが降り注ぐ。スタートラインの小田原料金所は、参加者たちの熱気と熱意もあって、真夏のようだった。バイクを走らせるパラモトライダーは、SSPが招待した14名。すでにライディングを経験し、実績のある人たちが、スタート前は一樣に緊張の面持ちだったが、設定されたのは、小田原料金所を出発し、一気に駆け上ると頂上付近の大観山展望台で折り返し、再び小田原料金所に向かつて駆け下るといふ、約26kmのコースである。

スタッフが事前に入念な下見を繰り返して、安全性を確認している。だが、ふとしたことでバランスを崩しかねないのが、バイクという乗り物の特性だ。パラモトライダーたちは、下半身不随などの障がいにより、途中で止まることができない。折り返し点でさえも止まることができない。今までのクロースドコースとは比較にならないほどの長距離を、安全に、そして完璧に走り切る必要があった。「今日という日を、きっちりこなそう」

これはSSPスタッフはもちろん、パラモトライダーも含め、当日あの場所にした全員思いだった。

予定より8年も前倒して開催された「やるぜ!! 箱根ターンバイク2022」は、障がい者がバイクで公道を走る世界初の試みだ。成功すれば、次につながる。失敗すれば、次がなくなる。初回にして、崖っぷちだった。誰もが明るい笑顔を浮かべ、SSPらしい楽しい雰囲気を出していったが、緊張感は拭えなかった。特に、パラモトライダーたちにはプレッシャーがかかっていた。

ターンバイクは貸し切られており、安全性を十分に確認しているとはいえ、公道の路面はアップダウンがあり、凸凹がたりと、変化幅が大きい。

SSPでパラライディングの経験を積み重ねてきたとはいえ、クロースドコースでのことだ。公道ではワンスミスが許されない。だが、彼/彼女らが心配していたのは、自分が転んで痛い思いをすることではなかった。

誰に話を聞いても、「万一のことがあれば、自分に続くパラモトライダーたちの

の可能性をつぶしてしまうことになる。それが怖い」と口を揃えたのだ。皆の考えが一致していた。

自分のことより、人のこと。パラモトライダーを支えるSSPスタッフはもとより、パラモトライダーたちも、自分の後に続くパラモトライダーのことを大切に思っていたのである。SSPの活動を通じ、支えてもらうことで、そして支えることを知った。そこで得たものは、自分以外の存在に思いを馳せる、ということだった。

熱意と熱気に、純粹で無垢な善意まで加わって、うまく行かないはずがなかった。14名すべての走行は、感激とともに無事に終えることができた。

パラモトライダーたちは「公道を走れるなんて、最高すぎる!」「やっぱりバイクはいいよね」「高度が上がるたびに気温が下がる感じがたまらなかった」と個人的な喜びを口にしながら、次世代パラモトライダーたちにバトンを渡せたことに、安堵の表情を浮かべた。

「また、次」と言える。

「次は、もっと」と言える。それはまさに、完璧な1日だった。





まがり美和

バイク歴は1997年から5年間。2018年壊死性筋膜炎で右足大腿部切断、切断の為二輪免許返納。2021年6月にSSP初参加後の10月に普通AT限定免許再取得。只今、普通二輪免許(ミッション車)取得の為の車両を準備中。2022年12月SSPの仲間に誘われ、Let'sレン耐!にも参加

バイクの魅力は いいことばかりじゃないこと

「めっちゃ最高!」
ヘルメットを脱いだまがり美和さんは、笑顔を弾けさせた。いても立ってもいられない子供のように、全身から喜びと興奮があふれ出ている。
「海が見えたんだよ!? このままUターンして、もう1回走れないかなあ」と、

周囲を笑わせる。今回の走行は、ひとり1回きりだ。まがりさんも、そのことを承知のうえで言っているのだ。

「だけどホントのことを言うと、景色を楽しむ余裕はあまりありませんでした。だって、1番大事なのは、任務を遂行することでしたからね」

「やるぜ!! 箱根ターンバイク2022」に参加したパラモトライダーたちは、貸し切りとはいえ公道でバイクを走らせた、

「屈託のない笑顔が私を後押ししてくれた だから私も笑顔で恩返ししたい」

世界で初めての障がい者。1期生であり、先駆者だ。

彼女/彼らが成功すれば、「またやるう」という気運が高まる。しかし失敗すれば……。1期生で道が途絶える可能性は、十分にあった。

「だからね、こう見えても、肩にのしかかるものがあつたんですよ。『ヒーハー!』って喜んでるだけのように見えるでしょ? でも今の私が感じてるのは、言葉ではちょっと言い表せない感情なんです。感謝っていうか、感慨深いっていうか、う〜ん、難しいな……」

人食いバクテリアと呼ばれる感染症に冒されて右大腿切断を余儀なくされ、義足を使っている。20年に及んでバイクから離れ、バイクに乗ることはすっかり諦めていたし、乗り方も忘れていた。

「もつと、もつと」と、前向きな気持ちになった。

だがまがりさんの場合、自分の喜びだけに留まらなかった。

「バイクに乗ることで、人とのつながりが広がったんです。声をかけてもらえることも多くなって、友達も増えました。バイクを通じての縁やつながりって、障がい者も健常者も関係ないんですよ。みんなが同じ笑顔で、それが私を後押ししてくれた」

多くの人の支えがあつて、今、自分は

バイクに乗ることができているということ、まがりさんは噛み締めた。

「もちろん、めちゃくちゃありがたいです。だから私は、自分の立場をわきまえながらバイクに乗りたいと思っ

自分だけがよければいいなんて、まったく思っていません。みんながバイクを楽しみたい。私だって乗れるんだから、女性のパラモトライダーももっと増えてほしいんです」

バイクの魅力については、こう語る。「ちょっとカッコいいこと言っちゃうと、バイクの魅力って、いいことばかりじゃないこと、かなあ。」

バイクって、奥が深くて難しい。自立できない乗り物だから、乗る側に技術が必要なんです。そこが私は好きです。

それに、やっぱり恐怖心はあるんですよ。でも、それを乗り越えた時の感動は、すっごく大きい。だから誰に聞かれても、『私はバイクに乗ってよかったよ』と答えることにしています。

……でも、難しいことを抜きにしても、バイクは楽しいですよ。だから私たちは、楽しんでる姿をどんどん見せていかなきゃ。そして私たちがバイクに乗っているところを、ぜひ見に来て、バイクに触れてほしいんです」

弾けるような笑顔も、自分だけの喜びのためにはない。それは、すべてのライダーの希望の輝きだ。

「屈託のない笑顔が私を後押ししてくれた
だから私も笑顔で恩返ししたい」

やるぜ!!
根



Wow!! Move!

SSP Side Stand Project

「ダメ」を探すのではなく、
「できる」を探す。

る箱根ターンバイクのコース上に散って、緊急時に備えつつ、パラモトライダーを沿道から応援しました。

SSPとしてはもちろん、過去に例のないパラモトライダーによる公道走行会の開催は「隔たりのない社会」の実現の未来に向けた、大きく、そして大切な第一歩が成功いたしました。健常者も障がい者も、当たり前のようにみんなと一緒に走れるこの活動をさらに広げていけるよう、これからもオートバイでつながる輪を大切に進めてまいります。

SSPの体験走行会に参加経験のあるパラモトライダー14名は、先導車と緊急時用の追走車、そして、そのパラモトライダーの友人49名と一緒に、一般道を走行するという特別な機会が実現しました。朝から快晴の好天に恵まれ、まだまだ残暑の厳しい9月上旬でしたが、箱根の山はひんやりとしていて、まさにバイクツリーング日和となりました。

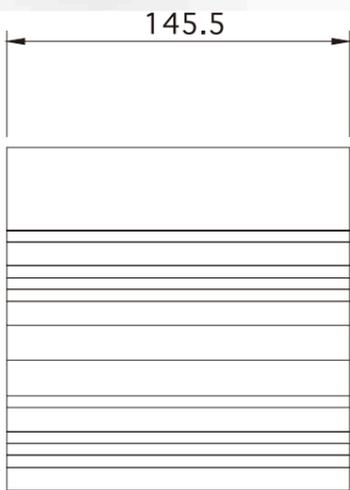
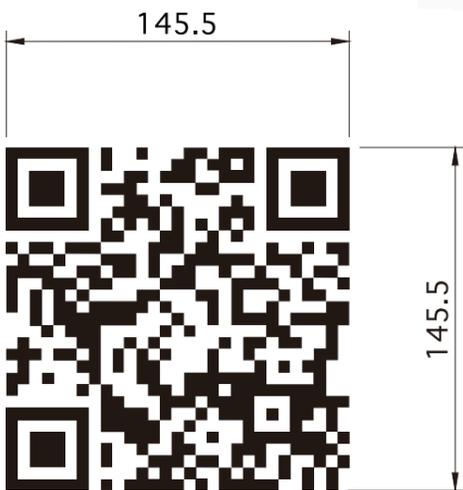
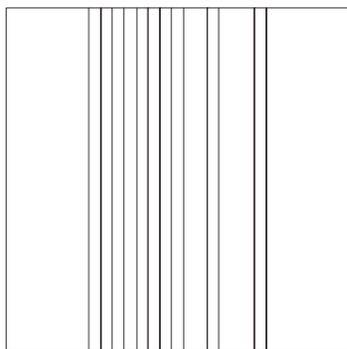
集まったボランティアスタッフはいつものパラモトライダーの乗降と発進停止の手伝いだけではなく、全26キロにわた

サイドスタンドプロジェクト(SSP)設立当初からの夢であった「パラモトライダーと公道を走ること」。パラモトライダー体験走行会の開催を始めて約3年、当初は2030年までには開催したいというこの夢が実現しました。



常日頃からSSPの活動をサポートしていただいている企業の皆様、この活動を支えてくださっているボランティアスタッフの皆様、そして、この「やるぜ!! 箱根ターンバイク」のクラウドファンディングでご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございます。





注記：
事業内容/プロダクトデザイン、製品開発段階での試作品製造、自動車バイク部品製造
主要製造品目/開発段階での樹脂試作品（デザインモデル・機能評価モデル）、
簡易金型による小ロット成形品、他 金属加工品（板金・プレス・ダイカストなど）

Dept.	Technical reference	代表取締役 菅原公一	SINCE 1984/08/20	Approved by
	株式会社 菅原モデル Title QR_block	Company		Document status
		Tel		042-762-6675
Rev.		Date of issue	Sheet 1/1	





MAEDA
JYUKOUGYOU

有限会社 前田重工業

工事部：重機土工、一般土木、残土運搬処分
運輸部：建設機械重量物運搬、産業廃棄物収集運搬

静岡県静岡市葵区山崎2丁目21-8
Tel.054-278-2850
Fax.054-278-2892
maedajyukougyou@maejyu.jp



企業訪問

教習所



日本ミシュランタイヤ株式会社 CASE_00

日本ミシュランタイヤ太田サイト施設内にて、体験走行会を開催させて頂きました。ボランティアスタッフは日本ミシュランタイヤ社員様を中心に募集して、初体験の方が多く、SSPベテランスタッフ及びミシュラン社内経験者が指導しながら、パラモトライダーのサポートをして頂きました。パラモトライダーがオートバイに乗る時は皆心配していましたが、運転できた時はその都度拍手が沸き上がり、皆笑顔をもたらせました。障がい者がオートバイに乗る驚きと楽しさを共感し、隔たりのない社会を目指し活動を続けてまいります。

CASE_01 ファインモータースクール上尾校

ファインモータースクール上尾校での開催は、過去に参加をしたことのある2名と、初参加となる3名を加えた5名のパラモトライダーに参加をいただきました。脊椎損傷、大腿切断、弱視とそれぞれ障がいを抱えながらも久々に乗るオートバイに笑顔と涙がこぼれ、パラモトライダーはもちろんですが、スタッフも含めた参加者全員が忘れられない一日となりました。また、直進路を無事にクリアできた方にはカーブのある外周路走行へとステップアップしていただき、その際はサポーターとして参加していただいた指導員さんに先導して頂きました。



サイドスタンドプロジェクト

これまでの歩み

「バイクに乗りたい」「バイクに乗らせたい」という想いがあったとしても、実際に走らせるこのができる場所は限られています。そこで、今まで開催された模様とともに、その一部を紹介致します。

ありがとうございます



HSR九州 CASE_04

パラモトライダーがレーシングスーツに着替える事は一苦勞です。4グループに別れ、順番に着替えのお手伝いを致します。九州開催でのパラモトライダーは定員5名のところ10名の参加申込を頂き、開催需要を感じています。練習オートバイにてSSPが定める規定にクリアした参加者5名中3名が、プログラム最後にサーキットを体験する事ができました。大型オートバイを走らせる時は、パラモトライダーの緊張感がスタッフにも伝わってきます。しかし、支えるスタッフが押しだしスタートした後はシールド越しに笑みを浮かべ、自然と拍手が起こり笑顔も溢れました。



CASE_02 MOTO GENERATIONS

設立当初から協賛、そして車両の提供をいただいているMV AGUSTA JAPAN様が主催している「MOTO GENERATIONS in FUJI SPEEDWAY 2022」の走行枠に、パラモトライダーが走行できる機会を設けていただきました。それも、一般健常者とともにサーキットを走行するという機会となり、7名のパラモトライダーがこれに参加しました。走行するのは富士スピードウェイの本コース(4.563km)。SSPが目指す、健常者も障がい者も当たり前のようにみんなで一緒に走れる活動が現実のものとなりました。これからもこの活動をさらに広げていけるよう、オートバイでつながる輪を大切に進めてまいります。



遠征

イベント





オートレース統括団体・JKAとSSPのリレーションシップ

活動の幅を確実に広げつつあるSSP。多くのパラモトライダーたちの夢を叶え人間の大きい可能性を社会に示し続けている。そのSSPを支えているのがJKAの補助事業だ。SSP代表理事の青木治親は、「JKA補助事業のおかげでSSPの活動は飛躍した。支えがあってこそ、私たちも人を支えられる」と言う



「社会をよりよくしたい」という思いを支援

研究、社会福祉、人材育成、スポーツ振興——世の中には、社会が抱える課題を解決しようとする活動が、数多くある。公益社団法人JKAの補助事業は、これらの社会に役立つ活動を支援するために、競輪とオートレースの売上の一部を補助金として交付する取り組みだ。透明性を確保するために、外部委員によって厳正な審査が行われ、採否が決定されている。



RC

2022年10月 発売予定

シリーズの頂点、クラス最高峰の性能、そしてRCというプライド



RCパールホワイト/アゴレッド/エメラルドグリーン



RCパールホワイト/アゴレッド/エメラルドグリーン



RCパールホワイト/アゴレッド/エメラルドグリーン

F3 RC

メーカー希望小売価格 **¥3,960,000** (消費税10%込み)
(消費税抜き ¥3,600,000)

レーシングKIT込み ※レーシングキットは一般公道での使用はできません。

DRAGSTER RC SCS

メーカー希望小売価格 **¥3,850,000** (消費税10%込み)
(消費税抜き ¥3,500,000)

レーシングKIT込み ※レーシングキットは一般公道での使用はできません。

TURISMO VELOCE RC SCS

メーカー希望小売価格 **¥3,795,000** (消費税10%込み)
(消費税抜き ¥3,450,000)

パニアケースセット標準装着

MV AGUSTA 正規ディーラー募集 (募集エリアはお問い合わせください)

お問合せ: 0538-23-0861

FLAGSHIP DEALER

MV AGUSTA 東京	東京都世田谷区	03-5426-1900	MV AGUSTA 横浜	神奈川県横浜市	045-722-8020	MV AGUSTA 名古屋	愛知県愛知郡東郷町	0561-67-5224
--------------	---------	--------------	--------------	---------	--------------	---------------	-----------	--------------

MV AGUSTA DEALER

スナダオート本店	北海道北斗市	0138-73-7773	RITMO rumorosso	東京都八王子市	042-649-1594	クレアツィオーネ	大阪府大阪市城東区	06-6964-0210
スナダオート札幌店	北海道札幌市清田区	011-888-7700	ユーメディア横浜新山下	神奈川県横浜市中区	045-628-0070	FORTRESS HARIMA	兵庫県姫路市	079-288-1535
CARAMELL MOTORS	茨城県水戸市	029-228-6009	ユーメディア湘南	神奈川県茅ヶ崎市	0467-83-9000	デスモ	広島県広島市南区	082-510-2790
ADVANCE MC	栃木県宇都宮市	028-612-5701	volto	神奈川県中部二宮町	0463-73-5417	モトワークス	広島県福山市	084-934-3984
金城 IVY RACING	埼玉県三郷市	048-956-2780	タイラレーシング	静岡県浜松市中区	053-437-2125	バイクショップ ライトニング	鹿児島県鹿児島市	099-255-4886
エボリューション	千葉県千葉市中央区	043-215-8551	クラブガレージ	富山県富山市	076-482-2350			

メーカー希望小売価格には、保険料、登録に伴う諸費用、重量税は含まれておりません。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各ディーラーが独自に定めていますので、詳しくはMV AGUSTAディーラーにお問い合わせ下さい。メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。価格および仕様は、予告なく変更する場合があります。掲載車両はイタリア本国仕様であり、日本仕様とは異なる場合がございます。

www.mv-agusta.jp

支えがあるから、

私たちは走れる

SSP代表 青木治親

'76年生まれ。'95~'96年、2年連続で世界グランプリ125ccクラスで王座を獲得。「生涯ライダー」をめざし、'04年にオートレースデビュー。トップ選手として活躍し続けている。



実はオートレーサーなんです!

全国各地を忙しく飛び回っているSSP代表理事の青木治親だが、ある時、フツと連絡が取れなくなる。決してアヤシイことをしているわけではない。SSPの顔として知られている青木だが、本職はオートレーサー。公営競技であるオートレースの公平性を守るために、レース期間中は外部との連絡が遮断されるのだ。

ところでSSPは、競輪やオートレースを統括する公益財団法人JKAの補助事業の一環として補助金が交付されている。オートレーサーの青木が代表理事を務めているから、ではない。説明しよう。JKAは、競輪やオートレースの売上金の一部を、社会的課題の解決に取り組む活動の支援に充てている。補助金の給付を受けるためには、事業計画を立て、申請し、審査を受ける必要がある。

補助事業の審査・選定は、外部委員によって構成される補助事業審査・評価委員会が行う。透明性を徹底するため。だから繰り返しになるが、青木がオートレーサーでも有利な点はまったくない。

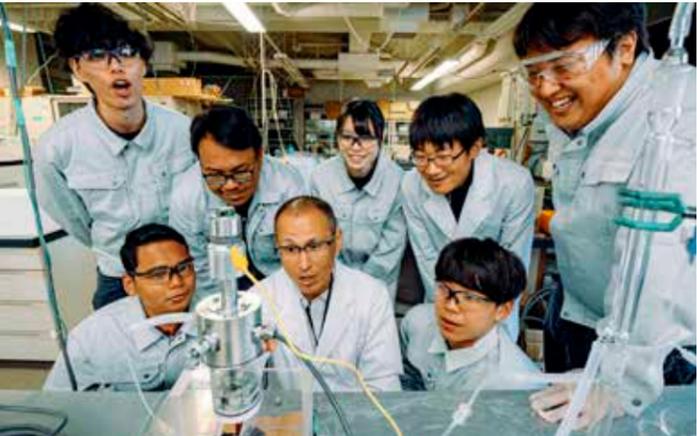


公益財団法人 アイメイト協会

「私の愛する目の仲間」という意味を込めて、盲導犬を「アイメイト」と呼び、その育成や歩行指導に力を注ぐ協会。「いつでも、どこへでも、人の助けを借りずに出かけられること」をめざす。

研究支援 CYCLE

社会の基盤となり、人々の豊かで健康な生活を支えるさまざまな研究活動。物理学の基礎研究から医学まで、幅広い研究領域をJKAの補助事業が支援。さまざまな形で新しい社会の可能性を押し広げている。



愛媛大学大学院 理工学研究科 野村信福 教授

廃油から水素を取り出し、次世代エネルギーとして活用する——。「液中プラズマ」というこの技術は、実用化されれば日本国内のエネルギーをまかなえることと、産業排水の浄化など応用も可能。日々、常識に囚われない研究が続いている。



公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団

小さな子ども、そして障がいのある人たちも。誰もが生の音楽を楽しめるコンサートを開きたい。名古屋フィルハーモニー交響楽団の福祉コンサート「夢いっぱいの特等席」は、自由に満ちあふれた演奏会だ。

社会福祉 CYCLE

社会を構成するあらゆる人々が、豊かで幸せな生活を送ること。それが社会をよりよいものにする。社会福祉の向上に取り組む団体もまた、JKA補助事業の対象となっている。



一般社団法人 リブレット基金事業財団

児童養護施設で暮らす子供らの「欲しいもの」第1位は、自転車だった。リブレット基金事業団体は、全国の児童養護施設に自転車を寄贈。「乗れた」という自信と行動範囲の拡大が、子供の自信と成長を促す。

筑波大学 システム情報系 知能機能工学域 川崎真弘 准教授
脳波を計測・分析し、人の心の状態を可視化するアプリケーションの開発を推進。自分の心を理解することで、他者の心への理解も深まり、より寛容な社会の実現に期待している。



大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科 森野佐芳梨 助教

妊婦の約45%が経験する腰痛は、切実な悩みだ。産後の社会復帰を遅らせる要因にもなる。大阪府立大学の森野助教は、研究が立ち後れている妊産婦の健康問題に向き合い、工学的アプローチで解決を図っている。

通常の手順で応募し、通常の手順で厳しく審査され、その結果、「SSPは障がい者に夢を与え、福祉増進という点で素晴らしい活動である」と評価され、補助金の交付に至ったのだ。

「20年に申し込んで、21年から補助金を交付されるようになりました。準備は大変でしたが、決まった時はうれしかったですね」と青木は振り返る。

現役オートレーサーが運営する団体が、JKAの補助金を受けるのは初めてだ。JKA側は、SSPが社会にパラモトライダーという新しい価値観をもたらしたことに加え、メディア露出などを含めての普及効果にも期待している。

JKAからの補助金を受けることでSSPの活動が一気に大きく成長し、同時に、オートレーサー・青木治親のモチベーションをいっそう高めている。

「SSPが充実していくわけですから、補助金は大変にありがたい。そして自分が参加しているオートレースの売上が、JKAの補助事業を通じて社会貢献の役に立つ。オートレース選手としては、ダブルでうれしいことなんですよ」

本業のオートレース選手として頑張り、JKAの社会貢献を盛り上げる。そしてJKAの社会貢献が、SSPを充実させる。支えることと、支えられることが、素晴らしくポジティブなスパイラルでつながっている。



一般社団法人 SSP (サイドスタンドプロジェクト)

'19年に活動を開始。下半身不随などの障がいを持ちながらも「バイクに乗りたい」という強い思いを持つパラモトライダーたちを支援し、サーキットや教習所、そして公道でのバイク乗車を実現している。

スポーツ CYCLE

心身の健康を増進するスポーツは、社会的価値が高いアクティビティ。誰もが「自分への挑戦」を楽しみ、達成感を味わえる社会の実現を、各団体とともにJKAもめざしている。



一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟

日本の車いすバスケットボール競技を統括する団体。車いすバスケットボール競技の普及や振興を図りながら、障がい者の健全な心身の養成や社会参加、障がいに対する社会の理解などを促進している。



京都市産業技術研究所

その端緒は、1886年設置の京都染工講習所と、1896年設置の陶磁器試験所まで遡れる、歴史ある公設試験研究機関。京都の伝統であり、地域産業界の強みでもある「ものづくり」文化を、産業技術の研究開発面から下支えている。

地域交流 CYCLE

生き生きとした日々の暮らしに欠かせない、地域交流。各活動を通じて地域に住む人々が密接なコミュニケーションを取り、お互いに理解を深めることで、過ごしやすく、活躍しやすい社会作りをめざす。



更生保護法人 長崎啓成会

刑務所を出、人生の再出発を懸けて頑張ろうとする人々を見守る更生保護施設。長崎啓成会は、生活支援や職業の斡旋、福祉機関への連絡、今後の生活についての相談などを行い、再起を支えている。

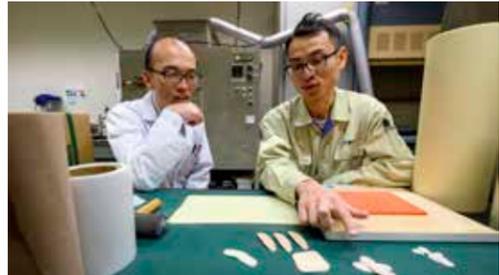
一般社団法人 WATALIS

東日本大震災の被災地、宮城県亶理町を舞台に、「人と学びの環」を創る団体。手仕事の楽しさを分かち合うワークショップ、地域の人々が集うカフェの運営などを行っている。



NPO法人パラキャン

障がい者スポーツをモチーフにした教育・体験プログラムを企画運営。障がい者アスリートを講師として、学校や自治体で訪問授業などを行い、その人がその人らしく生きられる社会形成をめざす。



滋賀県工業技術総合センター

電子・機械・有機無機材料・食品・デザイン・窯業など幅広い分野の研究開発用機器の開放拠点施設として、平成9年に創設。技術開発の推進など総合的な産業支援に取り組む。



CYCLE 地域技術

各地域の特性を生かした新たな産業の創出や、地域に根ざした人材育成、地域に貢献する機械産業の振興などを目的とした研究に対する支援を行っている。

高知県工業技術センター

「地産外販が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」をめざし、工業技術の支援や人材育成などに取り組む。中小企業の技術的課題の解決にも積極的で、新製品や特許も生まれている。



ロボカップジュニア おおがきオープン

19歳以下の子供が対象の、自律式ロボットの競技大会「ロボカップ」。ロボット作りもプログラミングも、すべてを子供たちが自分の手でやる。大垣市はロボットに関する教育に注力。

スーパースポーツと アドベンチャーの 完全無欠な融合。

ダイナミックなパフォーマンスか、尽きることのない快適性か。
どちらを求めても、S 1000 XRなら、あなたはすべての手に入れられる。
S 1000 RR 譲りの並列4気筒エンジンは、スポーツ性を高めながら、
低中回転域でもパンチの効いた加速を実現。最新の電子テクノロジーが
扱いやすさを向上させ、先進のユーティリティは所有感を満足させる。
しかも、思わず振り向きとなる風格も備えた。

S 1000 XR
¥2,079,000～(メーカー希望小売価格・消費税込)

※新車保証/保証期間は初年度登録より3年間、走行距離無制限。生産国：ドイツ。
車両写真はドイツ仕様であり、日本仕様と異なる場合があります。表示価格には、保険料、
税金(消費税を除く)、登録の諸費用、付属品価格等は含まれておりません。
希望小売価格は参考価格であり、販売業者が価格を独自に定めていますので、
詳細はBMW Motorrad正規ディーラーまでお問い合わせください。
2022年9月9日時点の価格です。



MAKE LIFE A RIDE



SDG Showa Denki Group

昭和電機グループは、送風機・環境機器・集塵機といった環境改善機器の製造メーカーであり、ちょこっとした作業場のお悩みも解決する“ちょこっとエンジニアリング企業”です。製品の製造はもちろんですが、弊社製品と周辺機器をフレキシブルに組み合わせることで、みなさまの「ちょこっとした悩み」を解決していくエンジニアリング集団でもあります。安全で快適な作業空間を形にします。

ちょこっと エンジニアリング



環境改善、課題解決。製造販売にとどまらない、顧客単位のきめ細かなエンジニアリングの提供。



SDG タイムズ



「昭和電機ってこんな会社です」を、広報社員野村が
ホスト役として発信していく YouTube チャンネル。
チャンネル登録はこちらから⇒



福利厚生



「福利厚生 No.1 を目指す企業」
SDG 昭和電機グループ
の取り組み。



SDG マリン



バスフッシングの本場アメリカから、バスボートを輸入販売。バスボートのプロモーションを兼ねて全国で開催されるバスターナメントに参加するプロアングラーのサポート及び企業認知活動も実施。



モータースポーツ



モータースポーツを通じた若手育成プロジェクト。MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ参戦や鈴鹿8時間耐久レース参戦による企業認知活動を実施。



Moving in new ways.
— MAGOKORO Company —

～ Side Stand Project ～

障害があっても、もう一度バイクに乗る楽しみを。

合志技研工業株式会社は、
Side Stand Projectの活動を応援します。



「障がいを抱えても、オートバイに乗りたい」
SSPのその想いに賛同し、当社は2019年からこの活動を応援しています。

この活動を通じて、多くの方が諦めていた“夢”を叶えられれば幸いです。

GOSHI

〒861-1115 熊本県合志市豊岡1280

合志技研工業株式会社



NEW
MICHELIN
ROAD 6

ミシュラン ロード シックス

最新のスポーツツーリングタイヤ
“いつまでも走り続ける喜びを”

NEW
MICHELIN
PILOT SPORT 5

ミシュラン パイロット スポーツ ファイブ

意のままのハンドリングを実現する
ハイグリップ スポーツタイヤ



MICHELIN
ROAD 6



MICHELIN
PILOT SPORT 5

www.michelin.co.jp

日本ミシュランタイヤ株式会社 〒163-1073 東京都新宿区西新宿3丁目7番1号 新宿パークタワー13F
お客様相談室 TEL.0276-25-4411 (受付時間:土日祝日を除く月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00)
サイズによっては、写真とトレッドパターンが若干異なる場合があります。サイズによっては、サイドウォールマーキングが異なる場合があります。



寄付のお願い

サイドスタンドプロジェクトでは

障がい者をオートバイで

“夢”“希望”を与える活動に努めています。

この活動は企業サポーター及び

個人寄付金で運営をしております。

オートバイを愛する人で叶わなかった夢を

一緒に叶えませんか？

協力企業様一覧

株式会社白田 [ファインモータースクール]	fine-motorschool.co.jp
合志技研工業株式会社	goshigiken.com
ミシュランタイヤ株式会社	Michelin.co.jp
昭和電機株式会社	showadenki.co.jp
株式会社ブリヂストン	bridgestone.co.jp
アネスト岩田株式会社	anest-iwata.co.jp
有限会社前田重工業	maejyu.jp
阿部建設株式会社	abe-kk.co.jp
株式会社アライヘルメット	arai.co.jp
株式会社上野工業所	ueno-ind.co.jp
公益財団法人 JKA	jka-cycle.jp
TEAM BEYOND (東京都パラスポーツ支援団体)	para-sports.tokyo
ビー・エム・ダブリュ株式会社	bmw-motorrad.jp
株式会社古木重機運輸	なし
株式会社 HYOD PRODUCTS	hyod-products.com
Icon AFG MOTOSPORTS	shop.afgmoto.com
有限会社 森製作所 「J・TRIP」	j-trip.co.jp
株式会社オージーケーカブト	ogkkabuto.co.jp
株式会社 MV AGUSTA JAPAN	mv-agusta.jp
株式会社 SHOEI	shoei.com
相模原市SDGsパートナー	sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp
ホンダモビリティランド株式会社 (鈴鹿サーキット)	suzukacircuit.jp
株式会社アールエスタイチ	rs-taichi.com
株式会社Run	tg-run.com
袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ	sodegaura-forest-raceway.com
株式会社 サイン・ハウス	sygnhouse.jp
株式会社 和光ケミカル	wako-chemical.co.jp
株式会社 菅原モデル	sugawaramodel.co.jp
全国軽自動車協会連合会	zenkeijikyo.or.jp



Your Move!

企業・個人定額寄付金

ssp.ne.jp/support

お気持ち寄付
住信SBIネット銀行
法人第一支店
普通 1396121

お問い合わせ先
Tel: 042-785-2299 Mail: ssp@ssp.ne.jp Webサイト: ssp.ne.jp

SSP
Side Stand Project

障がい者の夢と一緒に。

Your Move!

2023年
9月10日(日)

アズスト新田箱根ターンパイク (小田原駐金南一丸山)

やるぜっ!!
箱根
ターンパイク

サイドスタンドプロジェクト

この冊子に関する全てのお問い合わせ
一般社団法人SSP 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3156-4
Tel: 042-785-2299 Mail: ssp@ssp.ne.jp Webサイト: ssp.ne.jp

Auto Race この冊子はオートレースの補助事業を受けて制作しました

CAMPFIRE

クラウドファンディング公開中

